

# BNCT認可に見通し

## 厚生省 装置、薬剤の製造承認

次世代のがん治療法として注目を集める「BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）」の照射装置、ホウ素薬剤の製造販売が2月に厚生労働省の部会で承認されました。郡山市の南東北BNCT研究センターが、民間病院では世界初のBNCTによる治療を公的にできる見通しとなってきました。

BNCTは、エネルギーの低い中性子とがん細胞・組織に集約するホウ素化合物の反応を利用して、がん細胞をピンポイントで破壊する粒子線治療です。正常な細胞への影響を極力抑えることができるので、身体への負担が少なく、これまで外科手術や既存の放射線治療では治すことが難しかった再発がんや進行がんにも有効とされています。

具体的には

- ①身体にやさしい治療法（器官・臓器を切除しない）
- ②がん細胞だけを破壊
- ③難治性がんにも効果的（がん細胞と正常細胞が混在する脳腫瘍などにも効果的）
- ④1～2回の照射で完了
- ⑤緩和ケアとしても有効（がん細胞が体の痛みになっている場合の緩和ケアとしても有効）などです。

同研究センターの事業は、東日本大震災と福島第1原発事故で甚大な被害を受けた福島県の復興計画の重点プロジェクト。平成27年から臨床試験を開始し、多くの実績を上げてきました。

南東北グループ広報誌「南東北第337号」より転載